別紙

政府の需給対策の要請内容を踏まえた予備力の積み増し結果（6月30日時点）

		需給対策量 （8月）	説　明
需要側対策	通告ネガワット特約　等	※ 11．0万kW （契約調整電力 約200軒10．4万kW）	○お客さまにご加入いただきやすいよう取扱いを変更 （昨夏）当社が通告した5時間の継続した負荷調整 （今夏）当社が通告した5時間のうち1時間以上の負荷調整
	BEMSアグリゲーターとの協業	※ 0．3万kW （契約調整電力：0．3万kW 14事業者　約340軒）	○お客さまにご加入いただきやすいよう取扱いを変更 （昨夏）適用対象を契約電力 1,000kW未満 （今夏）適用対象を契約電力 2,000kW未満
供給側対策	姫路第二発電所5号機設備更新工事の休転期間の見直し	5．4万kW	○休転期間を短縮することで運転時期の見直しを実施 （見直前）休転期間 6/28～8/4、8/5～試運転再開 （見直後）休転期間 6/16～7/9、7/10～試運転再開 〔41.9万kW×4日/31日＝5.4万kW〕
	自家発余剰電力の増量等	3．4万kW	○協議の結果、一部のお客さまが所有する自家発で、電力需給の逼迫が予想される場合に限り、余剰電力を増量　等
合　　計		20．1万kW	

※　国に対する報告値。お客さまとの契約調整電力からロス率を考慮した発電端の値で報告。
6/30現在の値であり、更なる契約調整電力の積み増しに向けて協議中。